

2月13日深夜の地震を含めて開催が心配された「どりーむコンサート」でしたが、子どもたちは、堂々と、のびのびと、元気いっぱい、目の前にお父さんお母さんがいるように、ちょっぴり緊張して真剣に演奏することができました。よかったです。素晴らしかったです。保護者の皆様にはDVDでお楽しみいただけると存じます。

「激動の」と言っていると思います。激動の令和2年度が、まもなく終わろうとしています。新型コロナウイルスで始まり、ずっと1年間、「コロナ with」でした。でも、なんとか、運動会、生活発表会、どりーむコンサートの三大行事をはじめ、だいこん掘りやアルパカ牧場見学など楽しい思い出づくりができましたこと、皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

寒さ厳しい2月が終わり、「ひな祭り」が、まもなくやってきます。春の足音が聞こえてきます。3月は、修了式・卒園式があります。まとめの月です。お別れの月です。旅立ちの月です。

心の準備が・・・
分かっているけど・・・
やっぱり寂しいです・・・
でも
祝福しなければなりません
成長の証には 祝福です
子どもたちは 幼稚園での生活を通して
もう幼稚園では収まり切れなくなったのです
次の受け皿が 待っています
次は 小学校で
新たな出会い 新たな生活の中で
思いっきり はばたいてください
思いっきり 自分自身を成長させてください



本年度最後の園だよりにあたり、1年間を振り返っていたら、いろいろな本を読んだりいろいろな番組を見たりしていたら、ふと、一気に、右のような言葉が浮かんできました。

今年、成人式は中止になったり縮小になったりと、一生に一度の記念すべき式が本来の盛大な式としては実施できなかった中で、ある成人が「このような年に成人になったということが、これから生きていく上で意義あることにしたいと思います」というようなことをテレビのインタビューで話していました。頭が下がりました。

2020年 新型コロナウイルス
2011年 東日本大震災
まさに悪夢 絶望 どん底
しかし
そんな中にも “感動” が あった
そんな中でも “希望” を見出す人がいた
感動は、いつでも どこにでも あった
日常生活の中にも
日常生活を無事過ごせるということにも
逆境の中にも
逆境を克服したとき 感動は 最大のものとなる
希望は、いつでも どこでも 見出すことができた
決して 負けない心が
決して くじけない意志が
常に 前へ進もうとする歩みが

出あうのは 見出すのは 精一杯 やったとき
出あうのは 見出すのは 精一杯 生きたとき

令和2年度 並木幼稚園は 精一杯やりました
令和2年度 並木幼稚園は 精一杯生きました

